

『サポートハウス心愛学童』評価表のまとめと改善目標

1. 工夫している点

令和2年度は、新型コロナウイルスに伴い緊急事態宣言が発令された為、学校が休校となった。このような緊急時でも、職員のチーム力により、子ども達が利用できるように柔軟な対応をとることができた。体調管理、消毒作業をより一層強化し、感染症対策に取り組んでいる。

また、子どもの体調を含め、少しの傷やあざ等があった場合に、保護者に確認をすることを徹底している。

7月より、多機能型事業所になり、職員同士の協力体制が以前より強くなった。

コロナ禍で戸外活動などが減少される中、中庭改修工事を行い、施設敷地内でも身体を動かすことができるスペースを作り、子ども達の活動の場にすることができている。

2. 改善目標

コロナ禍で、子ども達の活動プログラム立案に限界を感じるがあった。その為、新しいプログラムを開拓していく必要がある。

保護者が安心して子どもを預けられる環境をより強化していく為に、職員も含め子ども達の体調を細かく観察していく。

研修機会の減少。Zoom等のオンライン研修の情報を入手し、積極的に参加し職員の資質向上をしていく。

親子イベント等の縮小及び中止に伴い、子ども達の活動の様子を見て頂く機会がない為、写真や動画等で活動の様子を伝えていきたい。

したがって、以下の点を改善目標とする。

《限られた生活様式の中での新たな活動プログラム立案。

写真や動画などのツールを使い、保護者との連携・共通理解の構築をする。》